令和7年度　江戸川区立大杉小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	○おもいやりのある子（徳） ◎すすんでとりくむ子（知） ○けんこうな子（体）	目指す学校像 目指す子供像 目指す教師像	「明日も行きたくなる、みんなの学校」 ①自分の考えをもち、目標に向かって歩み続ける子　②ともに認め合い、助け合い、高め合う子　③健康で安全な生活を心がけ、すすんで運動する子 ①子供を深く理解し、情熱をもって育てられる教師　②着実に準備し、よくわかる・楽しい授業に努める教師 ③教育公務員としての自覚と責任をもち、子ども・保護者・地域から信頼される教師
前年度までの本校の現状	成果 ・不登校が0。軽微ないじめも積極的に認知、早期対応、早期解決を組織で行い、重大事態にならなかった。 ・R5年度と比べ、全国学力テストが上がった。 ・全教職員が「安全・安心な学校」の共通理解し、大きな事故、事件もなかった。	課題	・児童の学力の向上に向けた具体的施策と教師の授業力向上と授業改善 ・児童の体力の向上に向けた具体的施策と教師の授業力向上と授業改善 ・学校組織の強化

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
確かな学力の定着	○授業改善の推進と基礎・基本の力の定着	・授業準備（板書計画・発問等）を確実に行い、「わかった」「できた」「楽しい」の授業改善を行っているかを授業観察で確認する。 ・学校独自の取組である九九検定、漢字王などを実施し、基礎学力の定着を図る。 ・「ことばの教室」と連携し、低学年のMIMの学習を向上させる。	・年間3回以上の授業観察による指導。若手教員は月１回以上。 ・各学年で、東京BDの正答率７０％以上。 ・九九検定・漢字検定は、80％以上、たし算・ひき算の１００マス計算において、合格者を50％以上 ・MIMの結果を３回以上実施する。初回の状況と比較し、10％以上とする。											
	○読書科の充実	・「調べる学習コンクール」に参加させ、本で調べたり、探究したりする力を高めていく。	・外部講師を招いて、調べる学習の研修を1回以上実施し、児童の指導に生かす。											
健やかな体づくり	○個に応じた体力向上の充実	・持久力・瞬発力を重視し、児童の基礎体力の向上を図る。 ・週１回の全校運動遊びやなわとびウィークを実施し、運動習慣の定着を図る。	・３分間走やシャトルラン・反復横跳びの記録がR6年度を上回る。 ・短なわ跳び（前跳び等）の得点が初回の得点より5％上昇。											
豊かな心の育成	○全教育活動を通し、人権教育の理解と充実	・あらゆる場面を通して、人権教育を深めていく。安心安全な学校生活を送れるよう「あたりまえ習慣」の定着を図るとともに、「人の役に立とうとする態度」を育てていく。	・「あたりまえ習慣」を中心とした児童アンケートにおいて、肯定的な回答が80％以上。											
特別支援教育の推進	○特別支援教育の推進	・巡回指導や特別支援教室専門員の活用、言葉の教室との連携を実施し、早期発見・早期支援を図る。	・児童の困り感を丁寧に見取り、適切な支援につなげていく。											
いじめ防止 不登校対策	○いじめ防止、不登校防止研修の実施	・SC及びSSWとの連携強化し、全教職員が、いじめ・不登校の未然防止・早期支援・早期対応への意識を高め、組織で対応する。	・いじめ防止授業と校内研修会をそれぞれ年3回以上実施。 ・不登校児童０、いじめがあった場合は年度内解決。											
地域社会に開かれた学校の実現	○情報発信の充実	・学校HP及びteamsuやtetoru等で必要な情報を迅速に送る。アンケート等から改善を図る。	・学校HPの更新舞毎日、teamsuやtetoruでの定期的な情報発信。 ・アンケート等を活用し、改善を図るとともに、丁寧な説明及び回答。											
特色ある教育の展開	○働き方改革の推進	・教職員が自らのペースで使える時間を増やす。	・全教職員の月残業時間45時間以下。 ・育児休暇や年休等の取得を15日以上。 ・会議の回数や時間をR5年度よりも10％減少。											